



2006.January 1月号

発行日:平成18年1月1日

発行:東京税理士会

情報システム委員会

題字「情報通」:金井塚 清(豊島)

# XBRLの意義と展望

甲南大学教授 河崎 照行

情報システム委員会では昨年度よりXBRL Japanに参加し、本年度も引き続き積極的に関わってきましたが、技術面が先行しており、税理士にとってXBRLがどのような役に立つか、税務・会計制度とのどのように関わっていくのかについて専門的な話も必要ではないかと検討しておりました。

そこで、先にサテライト研修でお世話になりました武田隆二先生のご紹介で、XBRLに当初から関わっておられる河崎先生に昨年10月12日本会役員と情報システム委員会委員を対象にご講義をいただきました。

当日は、お忙しい中を来京していただき、また、講義後も情報システム委員会委員と中小企業の会計指針との関わりなど有意義なお話をいただきました。さらにこの度の講演内容の概要を文章化して頂きこの場を借りてお礼を申し上げます。

会員各位にはXBRLがITの技術的な話ではなく、我々税理士にとっても今後有用なものであることをご理解いただければ幸いです。

## XBRLの意義と展望—前編

### 《プロローグ》

今日、会計ディスクリージャーは本格的な高度情報化時代(Webベースビジネスレポート)を迎えようとしている。本講演の目的は、Webベースビジネスレポートの技術的基盤であるXBRLについて、その意義と将来を展望することにある。

### 1 日本の電子開示制度と問題状況

近年、わが国では、電子開示の制度化について、次の2つの大きな動きがあった。

- ① 2001年6月に、「企業内容等の開示制度の電子化」(EDINET)がスタートし、2004年6月から、強制適用となった。
- ② 2001年11月に、「商法等の一部を改正する法律」が成立し、2002年4月から、会社運営の電子化が施行された。

このような電子開示の制度化を受けて、わが国や先進諸外国では、Webサイト(各企業のホームページ)に各種の会社情報を掲載する企業が急速な勢いで増加している。しかし、EDINETをはじめ、現状のWebサイトの財務データは、その二次利用が著しく困難な状況にある。このような困難を克服し、財務データの作成・流通・利用を促進させる目的で、現在、開発されているインターネット言語がXBRL(eXtensible Business Reporting Language)である。

### 2 XBRLの歩み

XBRLの開発の歴史は、次のように要約できる。

- ① 1999年1月に、AICPA(米国公認会計士協会)のXFRML(eXtensible Financial Reporting Markup Language)プロジェクトが発足
- ② 2000年4月に、XFRMLをXBRLに名称変更
- ③ 2000年7月に、Spec.1.0(XBRL仕様書1.0)を公表
- ④ 2001年12月に、Spec.2.0(XBRL仕様書2.0)を公表
- ⑤ 2003年12月に、Spec.2.1(XBRL仕様書2.1)を公表

### 3 XBRLの組織

XBRLの開発・普及活動は、国際組織である「XBRL International」によって行われており、これには、世界の20カ国以上、200超の各種企業・団体が参加している。日本におけるその下部組織が「XBRL Japan」であり、「XBRL International」が開発したタクソミー(Taxonomy;用語体系)の日本語化および日本版タクソミーの開発・普及をその活動目的としている。

### 4 XBRLとは

XBRLとは、各種の財務データの作成・流通・利用を促進するために、標準化されたXML(eXtensible Markup Language)ベースのインターネット言語をいい、次のような特徴を有している。

- ① XML技術を用いて財務データを記述するためのタグ付け言語(マークアップ言語)であること。
- ② 「<」と「>」で括られた文字列をタグといい、開始タグと終了タグで数値を挟み込む形で記述すること。例えば、「現金100万円」は、下記のように記述される。  
`<現金>100000</現金>`
- ③ このような記述方式により、データに意味をもたせることができ、世界共通のルールに基づいたタグであれば、世界中の財務データが共通のインタフェースで利用できることになる。

### 5 XBRLの効用

XBRLは、各種の利害関係者にとって、次のような効果が期待される。

- ① 企業にとっては、一度、XBRL形式で財務データを作成すれば、それを「印刷物としての報告書」、「Webサイト上の情報」等、複数の形式の情報として表現できることから、財務情報をより効率的に作成できる。
  - ② 財務アナリスト・投資者・監督機関にとっては、XBRL形式の財務データは再入力が必要ないことから、データの加工が容易となり、データの有用性が強化される。
  - ③ 財務情報仲介業者・データ統合機関にとっては、財務データの収集が効率化され、顧客の要求に合わせたデータ送信が可能になる。
- このように、XBRLは、企業の財務データを、入力ポイントから最終の利用ポイントまで、一気通貫した形のデジタル情報として処理することができ、財務情報のサプライチェーンの実現が可能となる。

### 6 XBRLの体系

XBRLについては、「XBRL仕様」、「タクソミー」、「インスタンス」の3つの基礎概念を理解しておく必要がある。

- ① XBRL仕様(XBRL Specification)とは、電子的なひな型を作るための基本ルールをいう。
- ② タクソミー(Taxonomy)とは、XBRL仕様に基づいて作成された電子的なひな型をいい、各国ごとに開発される。
- ③ インスタンス(Instance)とは、タクソミーに基づいて現実の数字が埋め込まれた財務諸表をいう。

なお、XBRLは、「XBRL FR」と「XBRL GL」の2つの領域に区別される。「XBRL FR」(Financial Reporting:財務報告)とは、財務報告のための仕様をいうのに対し、「XBRL GL」(General Ledger:総勘定元帳)とは、日々の取引データを記録するための仕様をいう。現在、「XBRL GL」の開発が精力的に行われており、「XBRL GL」と「XBRL FR」のリンクが実現すれば、財務報告の明細を様々な形で参照することが可能となる。

(以下、次号につづく…)

## 12/13開催「税理士業務に特化したパソコン入門」速報

昨年12月13日(火)に本会情報システム委員会の主催で「税理士業務に特化したパソコン入門」と題し、税理士会員向けのIT全般に関する勉強会が会館全館を使用して行われました。

午前中は、実験的な試みとして同日同時刻に九段会館にて実施されていた会員研修会を実況生中継しました。また午後からは、各相談室での説明に先立ち催し全般のガイダンスとゲストとしてお招きしたマイクロソフト社執行役員 森上寿生氏と地方税電子化協議会の市川孝雄氏からのスピーチがありました。各階各ブースでのコンテンツは先月号のプログラムの通りで、その具体的な内容の全てをデジタル化して記録しました。当日参加できなかった会員、再度内容を確認したい会員には各支部の情報システム委員会に宛ててこのデジタル記録を配付する予定ですので、詳細は支部情報システム委員会の担当者にご確認ください。

なお、今月号の情報通では、午前中の会員研修生中継の様態とゲストのスピーチの内容を報告いたします。各ブースでの相談員と会員との具体的なやり取りなど午後の部の詳細は次号で報告いたします。

右頁へ

前頁から

### ●●●●● 遠隔地への画像・音声の配信・受信実験について ●●●●●

#### 1. 研修会生中継実験報告 (午前中実施)

12月13日は、会員研修会が九段会館で行われましたが、その午前の部を東京税理士会館で実況生中継する実験を行いました。

今回採用した方式は、インターネットのブロードバンド回線を利用したとても安価な機器・システムによるものですが、ブロードバンド環境を持っていない九段会館、事前リハーサル・講師に対する講演方法(話し方等集音にあたっての協力依頼)についてのお願いなし、というとても大きなハンディキャップを負った中での実験でした。

九段会館にADSL回線を仮設し実施した結果、画像については2時間の講演を「見る」のに耐えるものですが、音声については途切れがちで「聴き続ける」のはとても耐え難いでした。

研修会受講目的で実験に参加して下さった会員の皆様には、研修内容について十分な満足感をもってお帰りいただくことができなかったのではないだろうかと思えます。どうかお許しください。

#### 2. 他会への各ブースの実況中継実験報告 (午後実施)

午後になり、会館内の各ブースの展示・相談が行われている時に、各単体会

に協力を呼びかけて遠隔地への配信実験を行いました。

各ブースをまわって撮影・集音している画像・音声を発信し、北海道会・東北会・九州北部会・南九州会の4会の事務局あるいは担当委員にあらかじめ配布したソフトウェアで受信していただきました。

今回は光回線による効果が現れ、かなりの高画質な画像を受信してもらったようです。ただ、音声につきましては、多少(0.1~0.2秒)画像とずれたり、途切れがちだったり、配信にあたっては集音方法を改善し、習熟度を高める必要があったような結果に終わりました。



(九段会館からの中継映像をプロジェクター2台で投影)

### ●●●●● マイクロソフト社 森上寿生氏業務執行役員のご挨拶 ●●●●●

かねてよりマイクロソフト社は、全国IT推進計画をスタートさせ、弊社の製品の紹介ということではなく、ITを活用して会社に元気になっていただく、ITを活用してオフィスワークを楽に進めてもらう。こんなことを目指してIT実践塾を開催してまいりました。地場の中小企業の皆様にそのための提案を行い、今年で4年目に入ったところですが既に700ヶ所で3万人の方の参加をいただき好評を得ております。

IT活用の啓蒙に専念して、皆様もだんだん上手に使っていただけるように

なりつつあり、元気な会社になっていただけたかなと思っております。

一方、ITの活用度合いといえますが中小企業における活用率を諸外国と比較しますと我が国の場合、アメリカの半分以下、イギリスの半分程度という状況になっており、ITに関する限りまだまだ活用の余地はあるなあと感じております。

この先も税理士会様と手をとり合ってITの普及に努めて行きたいと存じます。本日はそのための良い機会を与えていただき感謝すると今後ともよろしくお願ひしたいと存じます。

### ●●●●● 地方税電子化協議会 市川孝雄システム管理課長のご挨拶 ●●●●●

本日は、eLTAXの紹介と説明にまいりました。詳しくは、この後の相談コーナーでご説明致します。またご質問にもお受けしたいと存じます。さて、「地方税電子化協議会」という団体は聞き慣れない名前だと思いますが、この会は地方税の電子化の実現と推進を目的として2年前の平成15年8月に発足致しました。全国の都道府県、政令指定都市等の地方自治体により組織されております。

e-Japan構想以来、行政手続の簡素化、効率化は当然のこととなってまいりました。地方税の申告、納付の手続は対象先が国税と異なりまことに多岐に亘るものですから一層の効率化が求められることとなります。また、そのことが全国の自治体の負担の軽減に、ひいては納税者市民の負担に軽減に繋がる

ものと思えます。

eLTAXは、本年1月より西日本の一部より申告、申請がスタートし、8月からは東京都を始めとし東日本の一部でもスタートしました。より多くの方のご利用を期待するところですが目下の利用状況は、なかなか厳しく本年12月10日現在で、全国の利用件数が6,244件うち、税理士関与のものが886件、またその中で申告分は、3,171件ということになっております。

平成18年1月より対象地域と対象税目が拡大されますので更に多くの方のご利用を切に希望いたします。またその際、税理士会様のご協力をいただき普及に努めて行きたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

## 東京税理士会会員向け IT研修会のご案内

東京税理士会情報システム委員会

#### 1. IT研修・研修内容及び費用

- ① **Word 入門 全6時間**  
【内 容】 パソコン操作の基本となる文字入力、変換、文書編集、保存、印刷の基礎を習得する。  
【受講の基準】 日本語入力やマウスの操作も含めて、まったくパソコン操作経験のない方向けの研修(※1)  
【費 用】 13,650円(受講料・教材費・消費税込み)
- ② **Excel 入門 全6時間**  
【内 容】 【表計算の基本となるデータ入力、表作成、四則計算、関数計算、グラフ作成、保存などの操作を習得する。  
【受講の基準】 パソコンを利用して日本語入力やマウス操作はできるが、Excelなど表計算機能は経験ない方向けの研修(※1)  
【費 用】 13,650円(受講料・教材費・消費税込み)
- ③ **インターネット入門 全3時間**  
【内 容】 インターネットの利用方法、ホームページ検索、閲覧、電子メールの送受信方法を習得する。  
【受講の基準】 パソコンを利用して日本語入力やマウス操作はできるが、電子メールとインターネットは経験ない方向けの研修(※1)  
【費 用】 10,500円(受講料・教材費・消費税込み)
- ④ **セット講座(全4コース)**  
【内 容】 上記、①Word入門、②Excel入門、③インターネット入門を組み合わせて受講し、パソコンの全般的な操作方法を習得する。  
【受講の基準】 ①Word入門、②Excel入門、③インターネット入門と同様。  
【費 用】 A: ①Word入門+②Excel入門・・・25,200円  
B: ①Word入門+③インターネット入門・・・21,000円  
C: ②Excel入門+③インターネット入門・・・21,000円  
D: ①Word入門+②Excel入門+③インターネット入門・・・35,700円  
(受講料・教材費・消費税込み)

※1・・・受講の基準は、目安に過ぎないので、自由にご希望の研修をお申込できます。この他にも、中野キャリアスクールによる「しっかりマスターコース」など、もっと勉強されたい方向けのコースもあります。ここで紹介している研修の受講を希望される方は、本会事務局総務課までTELまたはFAXでご連絡下さい。折り返し、申込み手順、研修教室地図等について詳細な内容を記載した「IT研修案内文書」をご希望のFAX宛に送付いたします。

#### ◆◆会員向けIT研修の申込みについて◆◆

パソコン等の研修事業を実施している「中野キャリアスクール」の協力のもと、主にパソコン操作方法等に関して初心者を対象とした「会員向けIT研修」を開催しております。ここで紹介している研修の受講を希望される方は、本会事務局総務課までTEL又はFAXでご連絡下さい(書式は何でも結構です)。折り返し、申込み手順、申込み用紙、研修教室地図について詳細な内容を記載した「IT研修案内文書」をご希望のFAX宛に送付いたします。

東京税理士会事務局総務課 連絡先 TEL 03-3356-4461 FAX 03-3356-4469

#### 2. 研修日程表及び研修場所について

① Word (6時間) コース						
曜 日	月・火曜日			水曜日		
時 間	*1日3時間ずつ実施し、2日間(月、火)通うコースです。 17:00~20:00			*1日6時間実施するコースです。 10:00~17:00(1時間休憩)		
場 所	新宿エルタワー校	京王八王子		新宿エルタワー校		
月	実施日	講座NO.	講座NO.	実施日	講座NO.	(ご注意) Word入門は、銀座校では実施いたしません。
2月	13日・14日	19	49	15日	70	
3月	6日・7日 13日・14日	20 21	50 51	8日	71	

  

② Excel (6時間) コース		
曜 日	水曜日	
時 間	10:00~17:00(1時間休憩)	
場 所	新宿エルタワー校	
月	実施日	講座NO.
2月	22日	111
3月	22日	112

  

③ インターネット (3時間) コース							
曜 日	水曜日			金曜日			
時 間	17:00~20:00			13:00~16:00		17:00~20:00	
場 所	新宿エルタワー校	京王八王子		新宿エルタワー校	銀座		
月	実施日	講座NO.	講座NO.	実施日	講座NO.	実施日	講座NO.
2月	18日	—	221	17日	249	17日	279
3月	18日 15日	— 221	222	3日 15日	250 251	10日 17日	280 281

